水稲除草剤

ビクトリー®Z1キロ粒剤

ピラクロニル……2.0%
プロピリスルフロン……0.9%

種類名／ピラクロニル・プロピリスルフロン粒剤
農林水産省登録／第22843号
毒性／普通物*
有効年限／5年
包装／1kg×12、10kg

特　長

- 新規成分プロピリスルフロンとピラクロニルから成る2成分の一発処理除草剤です。
- 高葉齢のノビエ（3葉期）も防除が可能です。
- SU抵抗性雑草（ホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカ等）に優れた効果を示します。
- 多年生難防除雑草（クログワイ、コウキヤガラ等）に高い効果を示します。
- 効果の発現が非常に速く、長期間持続します。

適用雑草と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ シズイ ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	本剤　2回 ピラクロニル剤　2回 プロピリスルフロン剤　2回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布又は無人ヘリ散布
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

使用にあたって

■使用上の注意

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは3葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。

●散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
●散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
●浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植え付け作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
●本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
●著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえてください。
●本剤は、移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
●前処理剤との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布してください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬　害

●直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
●砂質土壌の水田および漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）、軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えの水田では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
●本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
●いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
●散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。

■水産動植物への注意

●水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。

■貯蔵上の注意

●密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年1月17日現在の登録内容に基づいています。